

## モンゴルの春：人類学スケッチ・ブック

著者	小長谷 有紀
発行年	1991-03-30
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10502/4579">http://hdl.handle.net/10502/4579</a>

《追記》

筆者は、文部省在外研究の費用をえて、一九八七年十二月から一九八八年九月までの十ヶ月間、国内蒙古社会科学学院に留学することができました。本書は、その留学期間中におこなった草原でのフィールドワークをまとめたものです。個々にお名前をあげませんが、留学のことでお世話になった方々、留学中に現地でお世話になった方々にあつくお礼申し上げます。とりわけ、居候をゆるしてくださった牧民の方々には、どれほど感謝しても感謝したりないほどです。心からお礼申し上げます。本書は全体としてすべて書き下ろしですが、一部すでに発表した文章と内容が重複しています。それらは、左のとおりです。

「男たちが大地を揺るがした日——モンゴル族・馬のたてがみ切り」(『季刊民族学』第四九号、一九八九年七月)

「草原に生きる女たち——モンゴル族・子ヒツジの生まれる頃」(『季刊民族学』第五〇号、一九八九年十月)

「みなし子ヒツジの物語」(『月刊みんぱく』一三巻二号、一九八九年二月、のちに、梅棹忠夫編『異文化での人間体験』に所収)

「ふるさとに帰るウマたちの話」(『どうぶつと動物園』一九九〇年一号、一九九〇年一月)

「モンゴル草原の醍醐味」(『へるめす』二七号、一九九〇年九月)

「牧民と母と子——モンゴルに生まれたヒツジの一生」(『アニマ』二一九号、一九九〇年二月)

「オオカミに立ち向かう」(『アニマ』二二〇号、一九九一年二月)